

小・中学校の指定校の変更・区域外就学許可基準について

問い合わせ 教育委員会管理課 ☎38-2085

教育委員会では、市立の小・中学校への就学について、住所地により定められた校区に基づき、学校を指定しています。しかし、下記のような特別な事情がある場合には、保護者の申し出により、指定校以外の学校への就学が認められる場合があります。詳しくは、上記へお問合せください。

届出の種類	対象学年	許可期間	添付書類
校区外へ引っ越しをしたが、そのまま現在の小中学校での就学を希望する場合	小学校 1～4年生	学年末まで	・住民異動届の写し ・市民課で発行された就学通知書
	5～6年生	卒業まで	
校区内に引っ越してくる予定で、あらかじめ就学を希望する場合	小学校 1年生	学年末まで	・売買契約書、賃貸契約書等の写し(引渡予定日・場所等を確認できる部分)
	2～3年生	卒業まで	
やむを得ない理由により、住民票と実際の住所が異なり、実際の居住地での就学を希望する場合	小学校 1年生	学年末まで	・保護者の申立兼誓約書 ・居住の実態が確認できる書類
	2～3年生	卒業まで	
保護者の事情により、児童・生徒を保護者以外の者の家で起居させ、そこから通学する場合	小学校 1年生	学年末まで	・保護者の申立兼誓約書 ・同居している親代わりの者からの申立兼誓約書 ・児童・生徒の居住が確認できる書類
	2～3年生	卒業まで	
いじめや不登校等の問題で、指定校への就学が困難な場合または病気や身体的理由により指定校への就学が困難な場合	小学校 1年生	学年末まで	・申立書 ・学校長の副申書 ・病気等の場合は診断書
	2～3年生	卒業まで	
区画整理等の行政の都合で住居を移転した場合	小学校 1年生	学年末まで	・居住証明書
	2～3年生	卒業まで	
保護者が住居以外で販売をしており、店舗等から通学する場合	小学校 1年生	学年末まで	・保護者の申立兼誓約書 ・店舗等の場所およびその実態が確認できる書類
	2～3年生	卒業まで	
保護者が夜遅くまで働いているため、祖父母等宅(親族に限る)から通学する場合	小学校 1年生	学年末まで	・保護者の申立兼誓約書 ・祖父母等からの申立兼誓約書 ・保護者の在職証明書
	2～3年生	卒業まで	

※いずれの場合も、保護者の責任のもと通学の安全が確保できる場合に限りです。
※原則として毎年申請が必要です。※ケースにより添付書類が異なる場合があります。

芦屋川検定

芦屋の美しい景観を形成している芦屋川の知識と見識をさらに深めるために、検定を実施します。合格者の中でご希望のかたは、観光ボランティアとして活動していただきます。

- 日時 11月23日(土・祝)午後2時～3時
- 会場 芦屋市商工会館2階
- 定員 50人
- 費用 1,000円(当日)
- 申し込み 11月18日(月)〈消印有効〉までにはがきで氏名・住所・年齢・電話番号を記入の上、下記へ※折り返し受験票をお送りいたします。



芦屋川

問い合わせ 芦屋観光協会事務局(経済課内)
☎38-2033(〒659-0065 光光町5-10)

地球市民



最近テレビや新聞などをみていて、ふと気がついたことがあります。自動車や電機製品・薬品・衣料・食品など私たちの生活を取り巻くさまざまな企業の名前や商品名がアルファベットやカタカナで表示され、こんなにも多かったことに改めてびっくりしました。企業は、世界市場で活動し、外国の企業と競争して日本製品を売り込んでいるのですから当然のことなのでしょう。

数年前には、日本企業が社内で公用語を英語にしたとニュースで報じられたことがありました。社員の語学力(主として英語力)が必須となる時代がまもなくやってくるのかもしれない。そう考えると、私たちの身の回りにも英語の商品名だけでなく言葉(単語)もいっぱいあふれていて、新聞を読んでもテレビを見ても

も理解できないカタカナ語がたくさんあります。アジェンダ、インサイダー、アイデンティティ、セレブ、アウトソーシング、クーリングオフ。『明治の初め、知識人はなだれ込む外国語と格闘して、片っ端から日本語の服を着せた』と、週日某新聞で読みましたが、あれから百四十余年がたち、いまグローバル社会となりました。平成二十四年十二月末現在の統計ですが、日本国内には、約二百三十八千人の外国人が住み、二十四年一年間に約八百三十七万の外国人が観光や商用等で来日しています。芦屋市内でも現在千五百三十人の外国人のかたが住んでいますし、外国人観光客もいるかもしれません。

このような社会に対応する教育を行うために、文部科学省は、平成二十三年四月から小学校五・六年生に年間三十五単位時間の英語授業を必修としました。外国語の音声や基本的な表現に慣れることで、その国の言語や文化について理解を深め、外国人との積極的なコミュニケーション能力の素地を養う力を身につけることを目指し、授業が進められています。

市は、昭和二十六年に公布された『芦屋国際文化住宅都市建設法』に基づき、まちづくりを進めてきました。最近では、外国人のかたにも理解し、ただけるように、新たに設置する建造物(建物や標識など)には、多言語表記化を進めています。毎日の生活に必要な情報紙として、英語版の広報紙『アジヤニュースレター』やガイドマップ(ごみカレンダー)などを発行しています。

日本語の美しさや日本古来の文化を大切にしつつ、グローバルな視点でこれからも芦屋市の国際交流を進めていきたいと考えています。

※グローバル社会：個人企業・団体のさまざまな行いが合理的な選択をもとめると、国内の範囲をこえて国際的に広がっていく社会(学習百科事典より)

も理解できないカタカナ語がたくさんあります。アジェンダ、インサイダー、アイデンティティ、セレブ、アウトソーシング、クーリングオフ。『明治の初め、知識人はなだれ込む外国語と格闘して、片っ端から日本語の服を着せた』と、週日某新聞で読みましたが、あれから百四十余年がたち、いまグローバル社会となりました。平成二十四年十二月末現在の統計ですが、日本国内には、約二百三十八千人の外国人が住み、二十四年一年間に約八百三十七万の外国人が観光や商用等で来日しています。芦屋市内でも現在千五百三十人の外国人のかたが住んでいますし、外国人観光客もいるかもしれません。

日本語の美しさや日本古来の文化を大切にしつつ、グローバルな視点でこれからも芦屋市の国際交流を進めていきたいと考えています。

市は、昭和二十六年に公布された『芦屋国際文化住宅都市建設法』に基づき、まちづくりを進めてきました。最近では、外国人のかたにも理解し、ただけるように、新たに設置する建造物(建物や標識など)には、多言語表記化を進めています。毎日の生活に必要な情報紙として、英語版の広報紙『アジヤニュースレター』やガイドマップ(ごみカレンダー)などを発行しています。

日本語の美しさや日本古来の文化を大切にしつつ、グローバルな視点でこれからも芦屋市の国際交流を進めていきたいと考えています。

※グローバル社会：個人企業・団体のさまざまな行いが合理的な選択をもとめると、国内の範囲をこえて国際的に広がっていく社会(学習百科事典より)

グローバル社会と私たちの日常生活

問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2008

高齢者のインフルエンザについて

問い合わせ 保健センター ☎31-1586

高齢者を対象にインフルエンザの予防接種を実施します。希望されるかたは、健康手帳と健康保険証を持参し、予防接種実施医療機関にあるインフルエンザについての説明書をよくお読みになって、予診票をご記入の上、お受けください。ただし、予約が必要な場合がありますので、事前に医療機関にお問い合わせください。また、卵アレルギーのあるかたは接種について主治医とご相談ください。

■接種期間 10月15日～平成26年1月31日 ■対象者 65歳以上のかた(接種当日までに満65歳になるかたを含む)・60歳以上65歳未満のかたで内部障害(心臓・腎臓または呼吸器等の機能に障がいのあるかた)で身体障害者手帳1級をお持ちのかた ■費用 1回・1,000円 *市外で接種を希望する場合は、事前に予防接種依頼書が必要となりますので、上記までご相談ください。

高齢者インフルエンザ予防接種実施医療機関

No	医療機関名	電話
1	芦屋病院	31-2156
2	南芦屋浜病院	22-4040
3	芦屋セントマリア病院	23-1771
4	青い鳥クリニック	21-6330
5	あかぎクリニック	80-8085
6	芦屋メディカルコミュニティ 坂本泌尿器科	35-5661
7	芦屋坂井瑠實クリニック	31-9911
8	芦屋こばやしクリニック	35-5672
9	芦屋グランデクリニック	22-8000
10	芦屋たいらクリニック	38-7291
11	芦屋橋本クリニック	21-3131
12	芦屋やなもとペインクリニック	22-8866
13	あずみクリニック	25-1078
14	阿部レディースクリニック	25-0401
15	池本脳神経クリニック	22-0268
16	いとう内科	32-2030
17	いまむらクリニック	38-6970
18	井村耳鼻咽喉科	34-7744
19	ウイメンズクリニック布谷	25-2520
20	上田内科	34-1878
21	上塚耳鼻咽喉科	22-5191
22	大谷クリニック	38-7001
23	大森医院	32-3997
24	岡本クリニック	35-0939
25	加藤内科消化器科クリニック	25-1211
26	上條医院	34-0787
27	かわもり小児科	34-6321
28	北井内科クリニック	38-4188
29	京極小児科	31-2735
30	くわの整形外科	35-1119
31	高内科	38-0022
32	幸原小児科内科医院	22-0338
33	後藤泌尿器科医院	21-5065
34	さわだクリニック	23-7117
35	重信医院	31-2480

No	医療機関名	電話
36	杉岡クリニック	25-5335
37	筋師医院	23-0627
38	鈴木小児科	34-0766
39	須山脳神経外科クリニック	32-0020
40	瀬野内科医院	23-3578
41	多田医院	32-3884
42	富永医院	22-3823
43	なかにしクリニック	25-1751
44	長澤クリニック	25-0075
45	永松クリニック	32-3399
46	なかれた内科クリニック	22-4592
47	西川内科	31-7789
48	にしわき消化器内科・外科クリニック	38-9891
49	野村医院	22-5505
50	ハザマ耳鼻咽喉科	31-3387
51	平林医院	22-3548
52	福岡外科医院	31-5588
53	藤井内科医院	31-2531
54	古川耳鼻咽喉科	23-4187
55	本田外科胃腸科	31-2221
56	前川クリニック	38-1212
57	まさい乳腺クリニック	22-2800
58	松葉医院	22-1641
59	松村内科クリニック	31-0813
60	みむらクリニック	32-5172
61	宮崎内科クリニック	25-2528
62	メイプルこどもクリニック	25-0911
63	毛利耳鼻咽喉科・芦屋クリニック	69-8741
64	山田医院	22-9351
65	吉田内科クリニック	38-7210
66	吉田泌尿器科クリニック	34-8200
67	吉龍医院	32-2855
68	やねくらクリニック	25-0180
69	渡辺産婦人科	22-5027
70	渡辺内科クリニック	80-8200

第49回 芦屋菊花展

秋を彩る菊花展覧会を下記のとおり開催します。市民展コーナーを設け、市民の皆さんが育成された菊花を展示します。1鉢からでも、応募できます。多くの皆さんの応募をお待ちしています。

■日時 10月31日～11月10日・午前9時～午後5時 ■会場 市役所北館玄関横 ■内容 大菊花壇・福助花壇・梵天花壇・懸崖仕立て・ダルマ仕立て等

問い合わせ 芦屋菊花会事務局(経済課内) ☎38-2033

平成25年度 市民企画講座 「家族が育つ読み聞かせ」「みんなであそぶ読み聞かせ」

講座やイベントを通し、絵本の紹介とともに、子育てにとってほんとうに大切なものをお伝えします。

- 日時・内容 ①11月14日(木)午前10時～11時30分/木曜講座「人とつながる読み聞かせの力」②11月30日(土)午前10時～11時30分/土曜講座「親子イベント「みんなであそぶ読み聞かせ」」
- 会場 男女共同参画センター セミナー室
- 対象 ①先着16人(子ども同伴5組まで)②親(祖父母含む)と子・先着10組
- 一時保育 ①2歳以上就学前児・先着4人(1人1回300円)〈要予約〉
- 企画・運営 NPO法人「絵本で子育て」センター 絵がお
- 申し込み ①10月31日(木)まで②11月15日(金)までに、希望講座名・住所・氏名・電話(ファクス)番号を明記の上、電話・ファクス・はがき・Eメールまたは下記窓口へ

問い合わせ 男女共同参画センター ☎38-2023/☎38-2175
☒josei-ce@city.ashiya.lg.jp(〒659-0065 光光町5-8)

教育委員長に小石寛文氏を選任

教育委員会では、10月4日に委員長選挙を行い、小石寛文氏を選任しました。任期は、10月4日から平成26年10月3日までです。



小石寛文(こいしひろふみ)氏プロフィール
神戸学院大学人文学部人間心理学教授。68歳。平成23年12月6日から本市教育委員。委員長は今回が1期目。緑町在住。

問い合わせ 教育委員会管理課 ☎38-2085

市ホームページへのアンケート調査結果〈報告〉

問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006

本紙8月15日号で、市ホームページへのご意見を募集しましたところ、40歳代から60歳代の8人のかたから、貴重なご意見をいただきました。アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。今回は、いただいたご意見の概要等をお知らせします。

《利用目的・内容》

■市ホームページを利用する目的について〈複数選択〉
①イベント・講座(各6件)②市議会(3件)③施設・公園(各2件)④医療・保健・福祉、ごみ・リサイクル、環境、子育て、学校教育、市民協働・参画、市民相談、広報あしやオンライン、その他(各1件)

《欲しい情報の探し方》

■目的ページの探しやすさについて
「どちらかといえば探しにくい」と答えたかた(7件)
「欲しい情報が見つからなかった」と答えたかた(1件)

《充実してほしい情報》

①イベント・講座(各4件)②市議会、市民協働・参画(各3件)
③ごみ・リサイクル、環境、市民相談、市政情報(市政の動向・予算)、広報あしやオンライン、その他(各1件)

【主なご意見】

■「欲しい情報が見つからない」「分類方法がわかりにくい」「欲しい情報が見つからなかった」ときはお手数ですが、各ページの下部にある担当課にお知らせください。お知らせいただくことで新しいページの作成につながります。また、各ページの下部にある「問い合わせフォーム」では、メールフォームでの質問の受け付けができますので、ご活用ください。トップページの「お困りです課におたずねください」にも、カテゴリごとのQ&Aを掲載していますので、参考にしてください。

■「頻繁に更新してほしい」「更新順にならべてほしい」「古い情報が多い」

新着・更新ページは、毎時間ごとに更新しておりトップページの「新着情報」については、更新順にならんでいます。現在、サイト内のページ数は約8,000ページあり、「新着情報」や「お知らせ」から見るとは一部であるため、そのようなイメージになってしまうのかもしれませんが。また、古い情報については整理を行い、より見やすいホームページを目指していきます。

めまぐるしく変わる社会情勢のなかで、市政に対するニーズは多様化しているため、いただいたご意見を参考に市政を円滑・効果的に推進していく広報活動を行っていきたく思います。また、今回いただいた意見につきましては、来年度に控えているホームページのリニューアルの参考にさせていただきます。

白バラ だより

今年四月に公職選挙法が改正され、七月の参議院選挙からいわゆる「ネット選挙運動」が解禁になりました。これはネットでの投票ができるわけではなく、候補者が選挙期間中でもツイッターやフェイスブック、無料動画配信サービス等を通じて情報を発信できることなど、コミュニケーションを取ることができるなど、忙しいときは各人の生活に合わせて情報入手ができます。紙のチラシやポスターが減る分、エコでもあります。また、若年層が政治に関心を持つきっかけが広がるかと期待されました。しかし、今回の選挙でどの程度インターネットを利用したかというところ、インターネットの調査では、選挙前に政党や候補者のホームページに訪問した人は1%以下でした。また、直接候補者と議論できる機会でしたが、なかなか有益な議論ができなかったようです。次回からは有益な情報をくみ上げ、節度を持って冷静に参加したいものです。

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100

「日々の生活と人権を考える集い2013」いのちのうた ころのうた 沢知恵 ピアノ弾き語りコンサート

人権週間(12月4日～10日)を前に、「すべての人々の人権が尊重される人権文化のまちづくり」をすすめるため、「日々の生活と人権を考える集い2013」を開催します。多くのかたのご参加をお待ちしています。

- 日時 11月21日(木)午後2時30分～4時30分(開場は午後2時) ■会場 ルナホール
- 定員 先着600人(手話通訳・要約筆訳・託児あり) ■講師 沢知恵氏(シンガーソングライター) ■申し込み 直接会場へ
- ※託児希望者は、電話またはファクスで子どもの名前・年齢・年齢(6カ月以上)・住所・電話番号を、11月8日(金)までに下記へ。



芦屋市人権シンボルマーク



●沢知恵氏プロフィール
1971年神奈川県生まれ。季節公演のほか、ハンセン病療養所・災害被災地などでも活躍。主なテレビ出演「ハートネットTV」など。

問い合わせ 人権推進課 ☎38-2055/☎38-2156

芦屋観光協会バスツアー

秋の大阪ぶらあるき

大阪造幣局と通天閣界隈<昼食は太閤園>

大正から昭和の面影が残る旧飛田新地の大門跡と妓楼を訪ねて

- 日時 11月12日(火)午前9時出発(集合 午前8時45分)
- 集合場所 市役所分庁舎 経済課・消費生活センター前
- 内容 経済課前→大阪造幣局・通天閣界隈→経済課前
- 定員 先着45人
- 参加費 6,500円(観光協会会員は6,000円)
- 申し込み 10月15日(火)から参加費を添えて下記へ



問い合わせ 芦屋観光協会事務局(経済課内) ☎38-2033